

平成30年度
(公社)日本ホッケー協会中学校部会

第1回常任委員会議事録



期 日:平成30年5月19日(土) 13時00分～

会 場:埼玉県飯能市美杉台中学校 会議室

〒 357-0041 埼玉県飯能市美杉台 5 丁目 3 番地 Tel 042-983-0120

参加者 (敬称略)

中学校部会会長:松原典生 (島根県:仁多中学校長)

中学校部会事務局長:馬場治男 (埼玉県:美杉台中学校)

会計:北島沙紀 (埼玉県:美杉台中学校)

事務局:久保克敏 (京都府:瑞穂中学校)

常任委員会

・構成員:16名

・出席者:12名

規約 第6章 第19条に則り

本会は成立

常任委員:松村洋介 (東北) 大嶋寿美 (関東) 前田弘美 (北信越) 山本 誠 (東海)

道端良之 (中国) 岩尾幸美 (九州)

U-15 海外遠征事務局:幸田伸也 (奈良県:榛原中学校) 吉原荘二 (築館中学校)

H30 年度全中大会事務局:児島史朗、元山貴光

文責:久保克敏 (事務局)

1 開会

2 あいさつ

会に先立ち、松原典生中学校部会長 (島根県仁多中学校長) にご挨拶をいただく。
次に、今回の会場をお借りした埼玉県美杉台中学校斉藤国明校長先生よりご挨拶をいただいた。

3 協議事項

(1) 第48回全日本ホッケー選手権大会

・「実施要項」「会場関係」その他の検討

実施要項は6月中旬には、中学校部会 HP により掲載予定

別刷資料あり

・宿泊・弁当要項について

名鉄観光 松尾様に来ていただき、説明を受ける。

・各ブロック参加枠数の決定

全国大会内規に則り、昨年度12月末時点の登録チーム数 (ブロックまたは県予選に参加をしているチームで「個人登録料」を支払っているチーム数による比例配分により参加枠を決定した。

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	開催枠	合計
男子	0	3	5	3	2	4	3	1	2	1	24
女子	0	3	4	5	2	4	3	1	1	1	24

※なお、上記の各ブロック枠数の中には、今年度より採用した「優勝ブロック枠」を、関東男子と北信越女子に入れた数となっている。

- ・全国大会シード権（組み合わせ抽選）及び決勝トーナメントの組み合わせ抽選の再確認

(2) 平成 29 年「事業報告」「収支決算報告」

資料 1、2

事業報告を事務局 収支会計報告を会計より報告

(3) 平成 30 年度中学校部会役員

資料 3

- ・ 2 年任期を基本とするが、人事の都合などでその通りにはなっていない
- ・ 会長・・・今年度全中大会開催地(島根県仁多中)より松原典生校長に願います。
- ・ 副会長・・・次年度全中大会開催地(滋賀県伊吹山中)より富田正孝校長に願います。
- ・ 常任委員、専門委員の交代について確認
 - ・・・東北・東海・近畿ブロック常任委員を今年度より変更
 - ・・・東北・東海・近畿ブロックの専門委員の変更

(4) 中学校部会規約

資料 4

- ・ 難しい判断が迫られる場面に度々直面するが、判断の基準は

第 2 章 目的

第 3 条「本会は (日本中学校体育連盟規約に従い日本ホッケー協会と協力して) ホッケー競技をととして体育の振興と、中学校体育の健全な発達を図ることを目的とする。」

となる。

つまり、当部会は、義務教育である中学校の活動であることが大原則であることから「学校管理下」と認定できるか否かが重要なポイントになる。

- ・ 部活動指導員について

部活動指導員の導入状況を、各ブロックで情報交流した。中学校部会として、今後の方向性を日本中体連の動向を見ながら考えていく。

(5) 平成 30 年度「事業計画(案)」「収支予算書(案)」

= 「事業計画」 =

資料 5 , 6

- ・ ブロック大会日時と会場の確認
- ・ 常任委員会(第 2 回)の日程・場所の確認
平成 31 年 2 月 23 日(土) 場所：埼玉県飯能市美杉台中学校を予定

= 「収支予算書」 =

別紙

(6) 中学校部会協力金「個人登録料」の納入について

資料 7

*平成 30 年度の「登録料」徴収について

- 1)各常任委員から、ブロック内各チームに「個人登録料」の納入について連絡
- 2)併せて、常任委員は、ブロック内各チームの 6/1 現在の部員数を調査し事務局に報告 ※報告先=事務局会計：北島
- 3)別紙「資料 7」の要領にて、各チームは 6/30 までに登録料を納める
- 4)各常任委員は、納入の滞っているチーム等に催促をする

(7) 全国大会内規事項

- ・合同チーム編成条件の再確認
北海道の参加はなし

- ・H31 年度以降の全中大会開催地について

H31：滋賀県開催に決定

(今年度事務局で滋賀県ホッケー協会及び地元（米原市）へご挨拶)

H32：東海ブロック・・・静岡県開催で決定

H33：関東ブロック・・・埼玉県が意思表示

H34：東北ブロック・・・宮城県が立候補

(8) 合同チームの承認について

- ・男子 9 (昨年 13) チーム、女子 8 (昨年 8) チームが申請

《申請状況 5 月 12 日現在》

ブロック	男 子	女 子
東 北	○宮城（築館 1 3・栗原西 4）	○山形（川西 1 0・米沢第三 2） ○山形（高島 5・米沢第二 2・米沢第四 1） △青森（堀口 3・第一 1）
関 東	○埼玉（加治 9・飯能西 1・野田* 1） ○埼玉（飯能第一 9・吾野 1・北本* 1）	○埼玉（加治 4・原市場 1・小手指* 1） ○栃木（豊岡 4・落合 3）
東 海	○岐阜（那加 2・中央 1 5）	
北信越	○新潟（巻西 8・坂井輪 2・西川 1）	
近 畿	○兵庫（篠山 1・丹南 1 3）	○兵庫（篠山 9・丹南 5）
中 国		○山口（高森みどり 5・平川 1）
四 国	○香川（綾南 7・協和* 1） ○愛媛（松前 9・北伊予 3・岡田 2）	○香川（綾南 5・協和 1・国分寺* 1）
九 州	○佐賀（伊万里 6・啓成 5）	○佐賀（伊万里 5・啓成 1）

※校名後の「*」印は同一市町村でない学校

* 学校長の承認は必要・・・学校管理下による大会実施を守る

* 教員による引率は必ず必要である

* 合同チームとして認められる範囲は・・・活動実績のある 3 チームまで

* レンタルによる合同チームについては、現状では全国大会については認めることはできない。

・大分県のチームについて

大分県は「北山田中学校」「玖珠中学校」「日出生中学校」「森中学校」が平成 31 年に合併し、校名が「くす星翔中学校」と決定している。このような状況を考え、検討した結果このチームを「**統合チーム**」という考えで認めた。



常任委員会で確認・承認を取ることができたので、各ブロックの常任委員よりその旨を学校に伝えることを確認

(9) 競技部・審判部より

- ①イエローカードの退場時間は 2 分間、グリーンカードは警告とする。
- ②引き分けで試合が終了し、勝敗を決する必要がある場合は、試合終了後 4 分以内に SO 戦を実施する。
- ③ PC 終了後は、守備者の防具はできるだけ速やかに取り外すこと。
- ④スライディングタックル(防御)は、たとえボールに対して正当にタックルできたとしても、その行為の結果、相手選手が危険であったり危険を誘発する行為であった場合には、反則としてカードにより罰せられる。

(10) 第 19 回都道府県対抗 1 1 人制ホッケー選手権大会

福井県での開催があと 2 年で終了する中で、今後のことを考え中学校部会として福井県で開催をお願いしたいという方向であるが、福井県側（11 人制大会実行委員会、福井県ホッケー協会、地元中学校関係者など）に中学校部会として協力可能なことを提示し、積極的に協力をしていく方向でまとまった。

(11) ジュニアユース U15 日本代表チームについて・・・・・・・・・・(遠征事務局：幸田)
・選考会について

日程：平成 30 年 9 月 15 日（土）16 日（日）17 日（月：祝）
場所：栃木県日光市ホッケー場、今市青少年スポーツセンターホッケー場
宿舎：青少年スポーツセンター

遠征スタッフ・選考スタッフについて

選考スタッフ {
・海外遠征スタッフ
・中学校部会役員（事務局、常任委員）
・(NTS スタッフ)

《選手の選考について・・参加の条件》

- *高校でホッケーを続ける確かな意思がある 3 年生
- *将来、教員としてホッケーの指導に携わる意思のある 3 年生
の条件を満たし、かつ下記 (①～③) のいずれかに該当する 3 年生
- ①地区ジュニアユース代表者
- ②全中大会優秀選手
- ③監督推薦（ホッケーだけでなく、学校生活も含めて推薦できる選手）

各地区優秀選手の選考基準について

=選考方法の確認=

- ・ NTS の趣旨に則り、3つの地区（東・中・西）で代表選手（優秀選手）の選考を行う
- ・ 全中大会ブロック予選で各ブロックが組織的に選考 ～ JHA に上程する。～

有望な選手の早期発掘と U-15 日本代表の 1 次選考の場、
そして、何よりも選手のモチベーションが高まることを期待し実施をする。

=選考方法=

- ・ 各ブロック男女 10 人程度（ブロックにより人数の多少有り）
 - ・ NTS の趣旨により、学年は制限をしないで選考をする。（U-15 選考会と区別をする）
 - ・ 選考された選手の名称「東（中・西）日本ジュニアユース代表」とする。
 - ・ 選考された選手には、「認定書」を授与する。
※認定書の作成は、常任委員で行う。
 - ・ 選ばれた選手は、9月に行われる「U-15 ジュニアユース日本代表選考会」に優先的に参加できることとする。（ただし3年のみ）
- 遠征の概要 ～現時点でわかっていること～
- ・ 11月18日（日）～11月27日（火）でオーストラリアのパス（F・H・ECUP 参加）を予定

4 その他

- ・ ブロック大会結果の HP へのアップについて

各ブロック大会が終了したら、各ブロック常任委員の方で速やかに中学校部会 HP にアップをする。

地区代表選手（東・中・西）の選考結果は、NTS スタッフが事務局までデータを送信し、事務局よりアップをする。

認定書については、ブロック大会の閉会式などで渡してもらおう。

- ・ 全中大会優秀選手について（選考方法など）

全中優秀選手の選考方法については昨年度のものを踏襲することで確認をした。

また、最優秀選手に選ばれた選手及び指導者には JOC の研修が義務付けられていることを確認した。

5 閉会

日本ホッケー協会理事兼中学校部会事務局長の馬場治男様から閉会のご挨拶をいただいた。